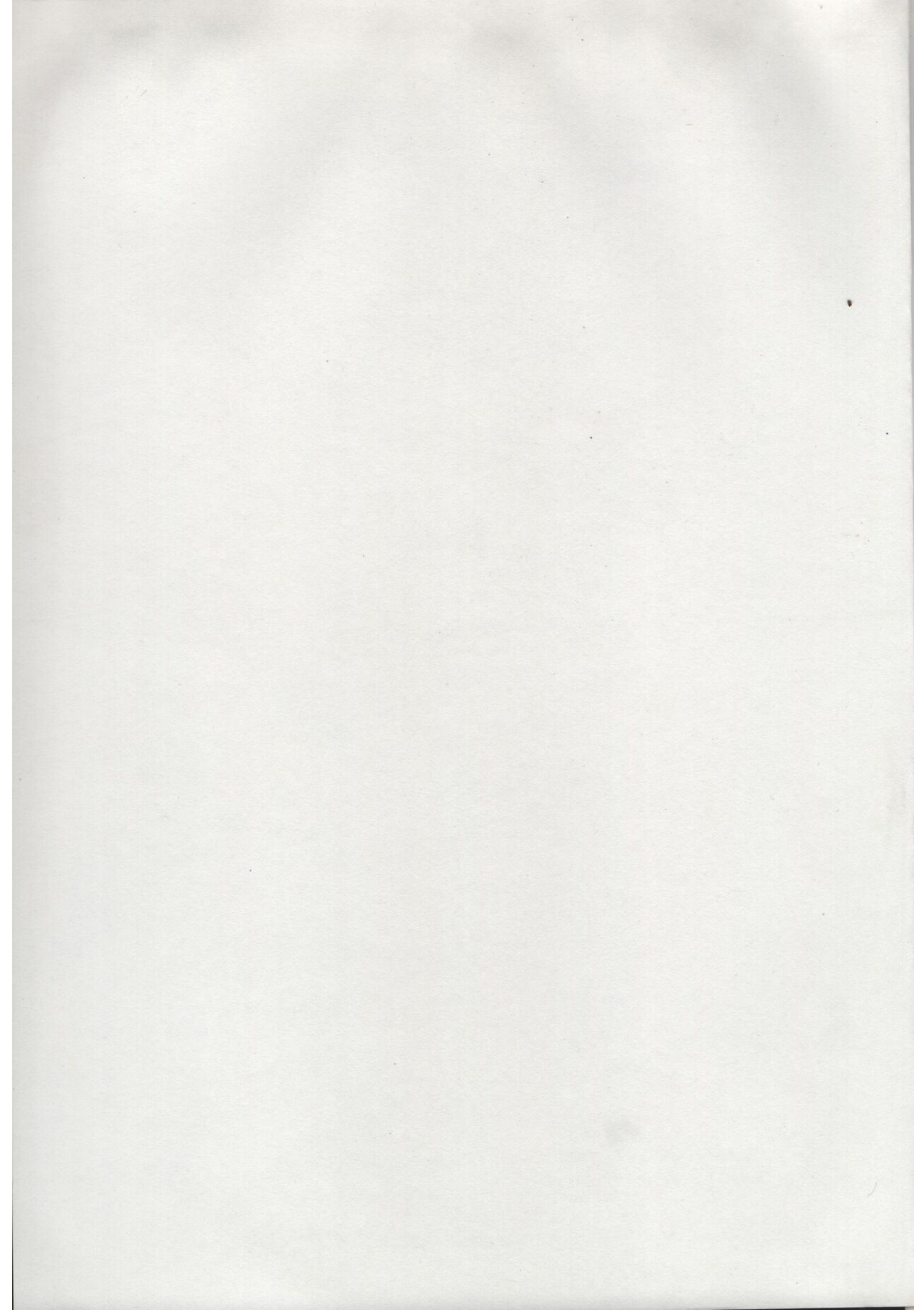


有害畜人



鬼畜にや無害

成年向け





設定と言うか、まあ、ページ稼ぎですな。

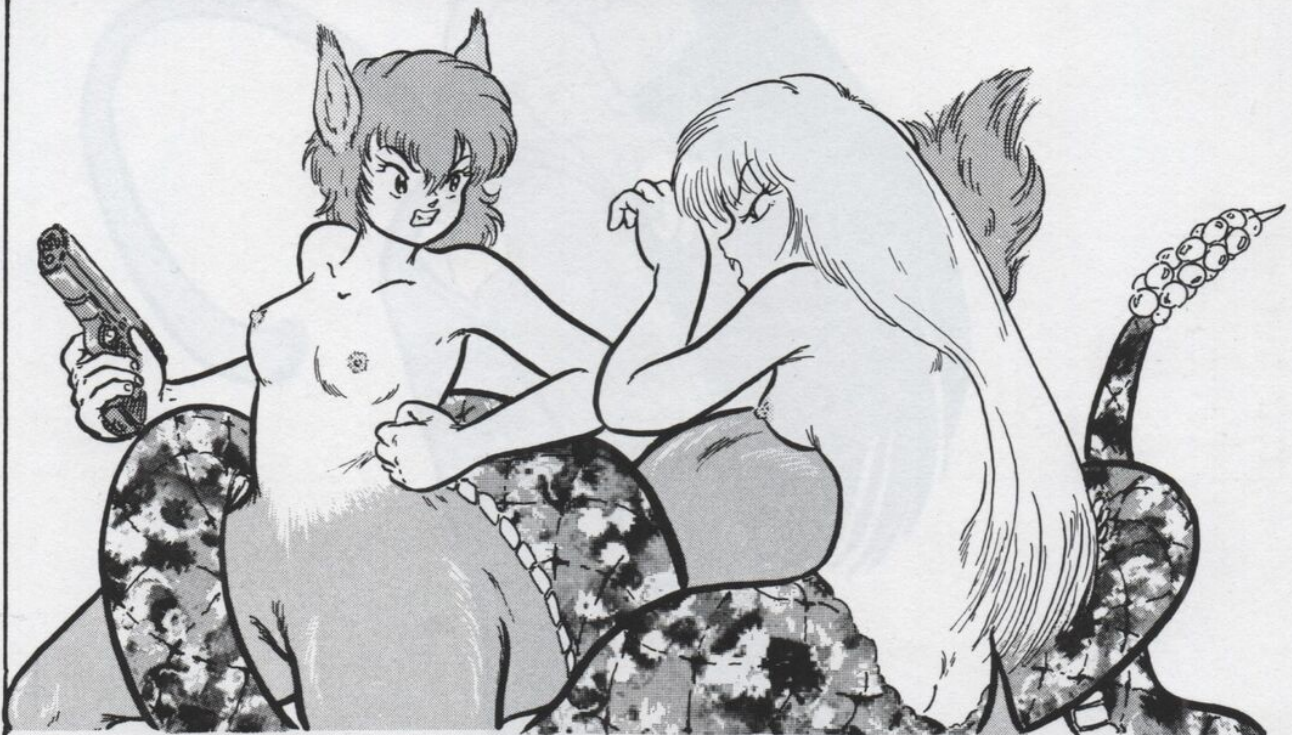
馬

馬は、知能が高く、教えれば、人間の出来る事なら、たいてい覚える。言葉も理解するが、発声器官の構造上、人語は喋れない。あつ、筆談ならできるかも？また、人に良くなつき、主人に対して非常に忠実な上、力も強く、作品中でも銃を使っていた様に、武器も使える器用さで、大変優秀な騎兵として、また、競走馬、農耕、労役に、軍民を問わず、広く使われている。

う〜ん、何故こんなに優秀な生物が、人類ごときに家畜として扱われているんだろう？(笑)

さて、この作品のヒロイン、お馬さんである。名前は無い。

この娘は、競走馬でもなければ、軍馬でもない、血統も何も無い、単なる労役用播馬。安かったんで買われたというだけの、はっきり言って、駄馬である。



蛇

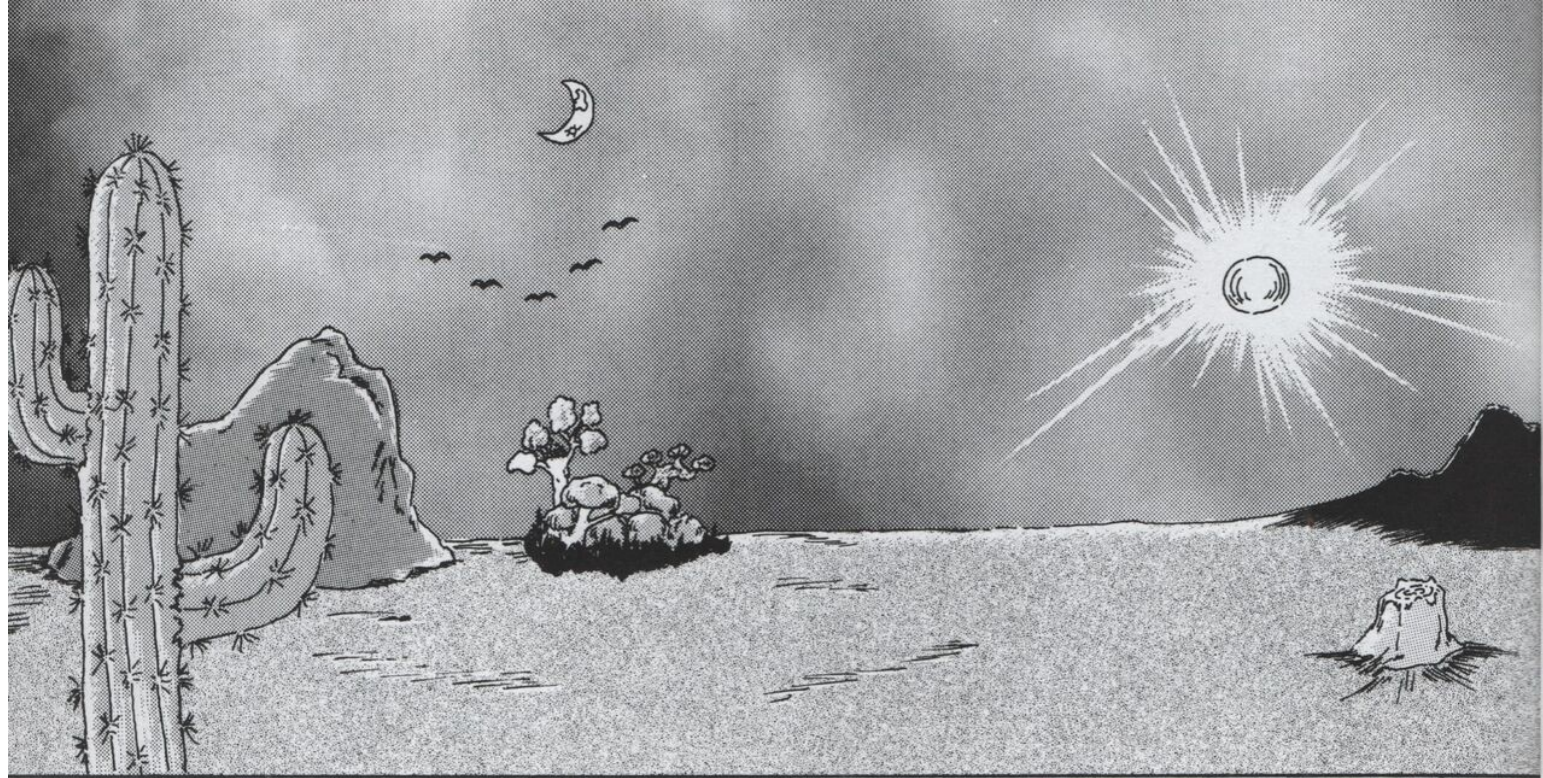
作中では、お馬さんに冷血動物扱いされていたが、温血である。恒温爬虫類で、卵を産んで乳で育てる。こうなると、単孔類に近いような気もするが、総排泄口と、生殖器は別である。極地を除く、世界中に広く分布し、半数以上の種が、毒を持っている。

知能は人間でいえば2〜3歳児程度。めったに人に馴れないが、根気よく仕込めば、簡単な芸ぐらいなら覚える。ごく簡単な命令程度は理解するが、言語を理解しているわけではない。ニュアンスを理解しているだけである。所詮は野生動物。考えてみたら蛇には耳が無い。(笑)

さて、この作品のヒロインのライバル、蛇である。やっぱり名前は無い。

この娘は、猛毒のガラガラ蛇。何せこのサイズである。牛どころか、鯨だって死にそうな気がする。恐らく一噛みで、千人分位の致死量に当る毒が…。こんなものの口にちん〇んを突っ込もうなんざ、やはり正気の沙汰とは思えない。前の飼い主の死因は、推して知るべし…である。

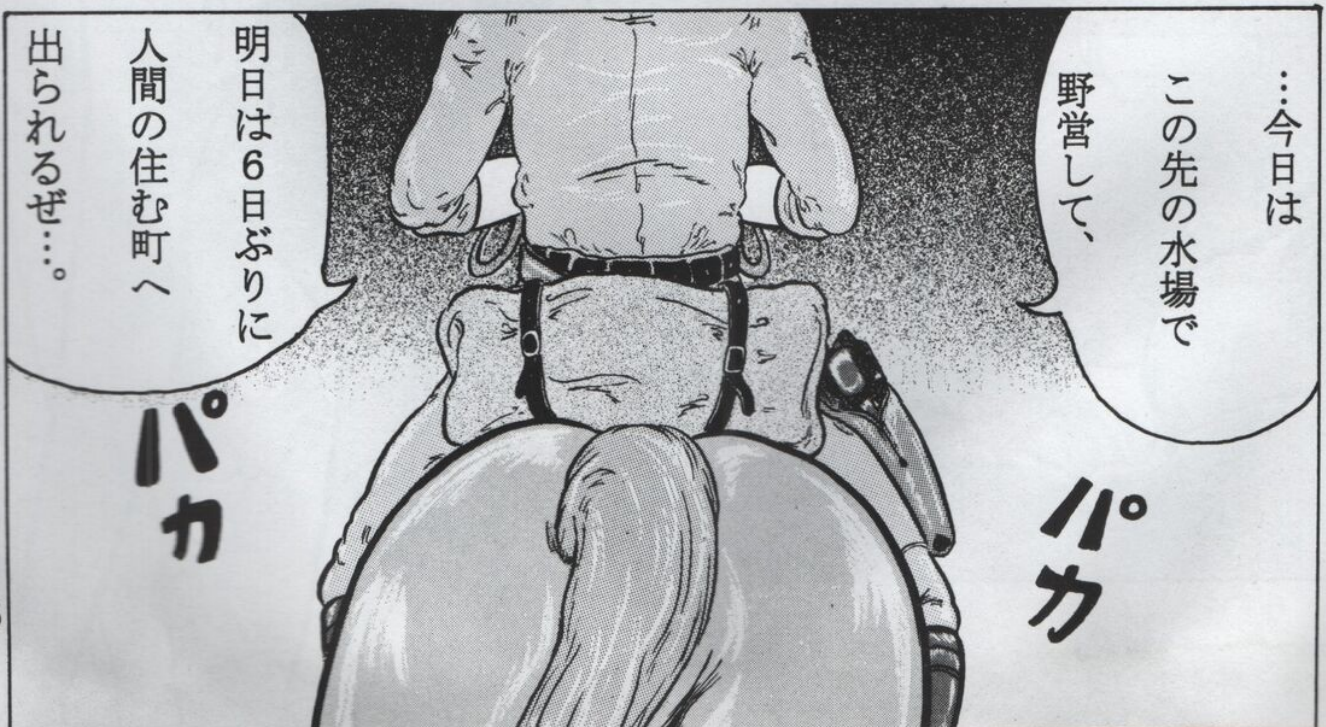
まあ、この世界は、私が昔から良く使っているオリジナル設定の世界なので、他にも『鳥』とか『魚』とか『虫』『牛』『犬』『猫』など居んですが、ネタがバレバレなので、それらは、それらが登場する話を描いた時にでも…。

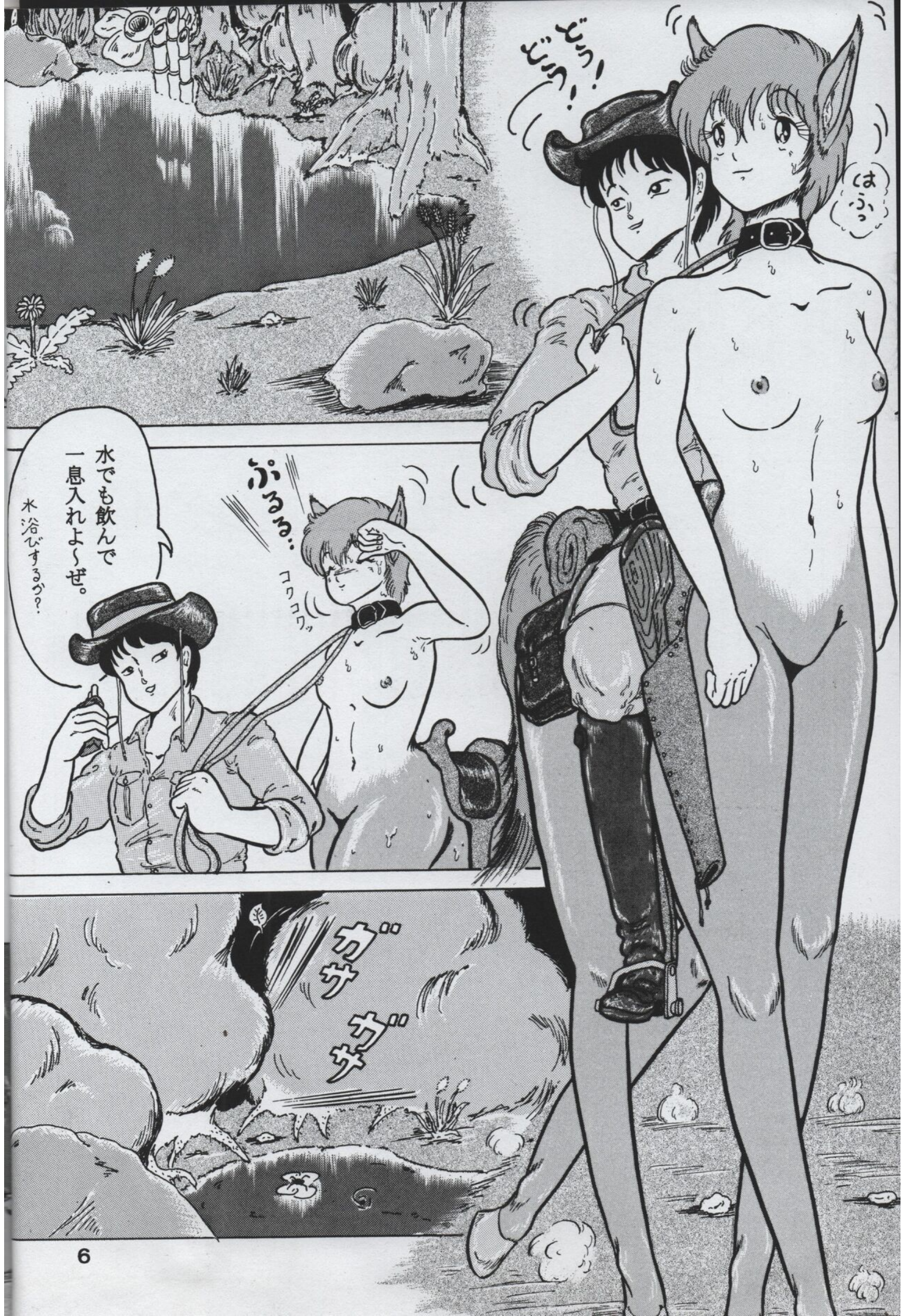


男の中の男



木露いびあば





はっはっ！
はっはっ！

はっはっ

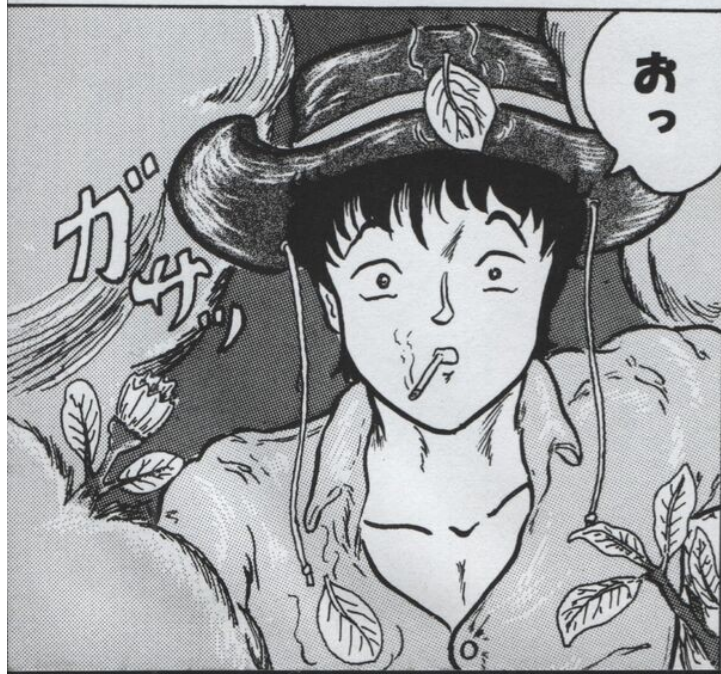
水でも飲んで
一息入れよ〜ぜ。
水浴びするの？

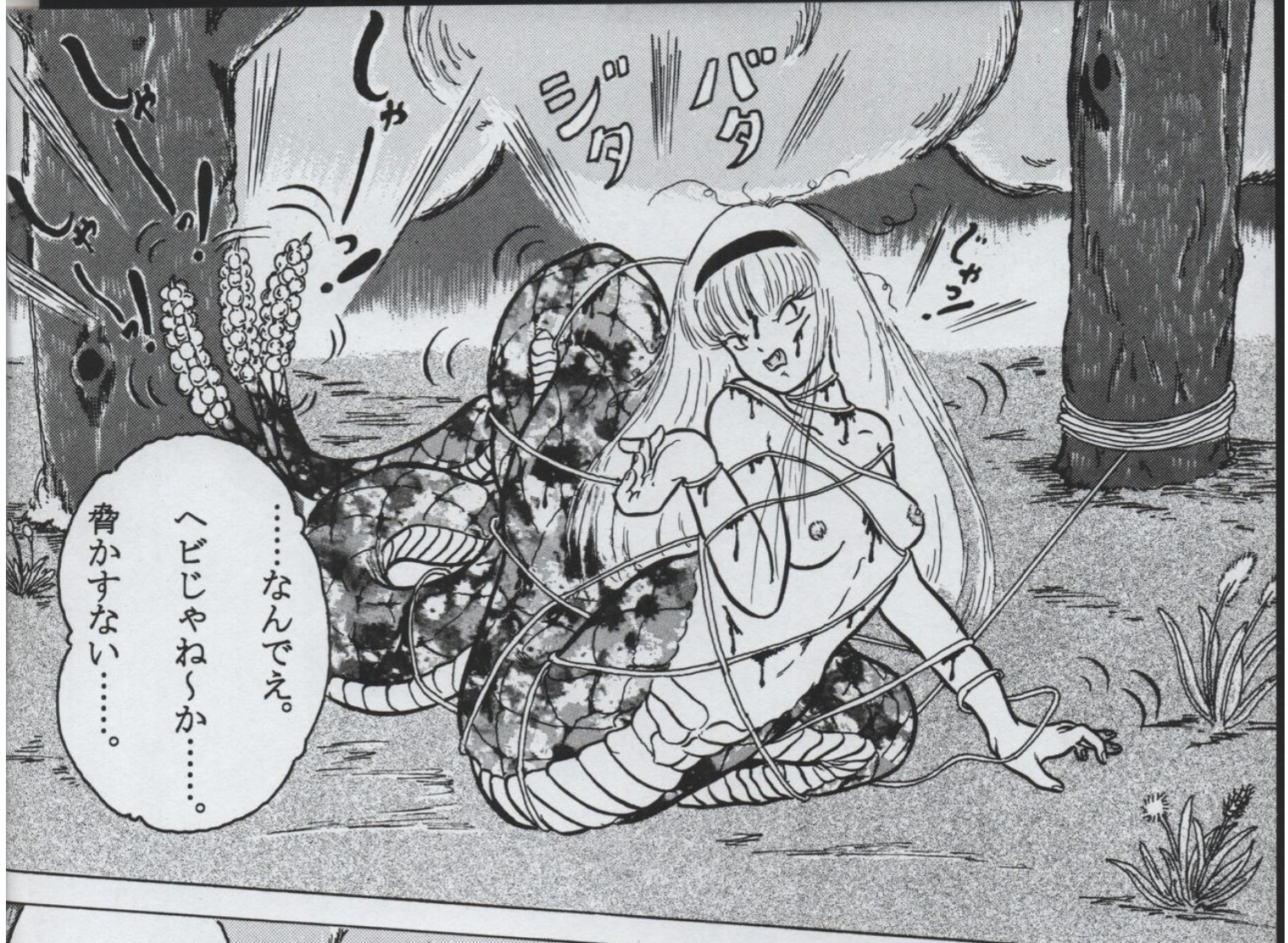
ぷるる。ころころ

ガサガサ
ガサガサ



ちなみにこのM29はニセ物です。セトメ製のコピー物。本物のモノにはBOXマガジンはありません。





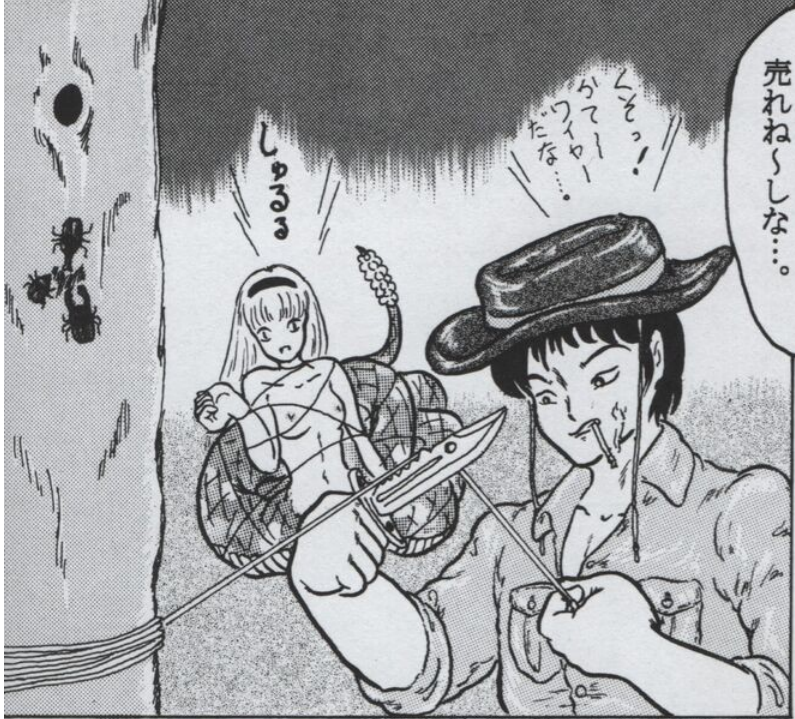
……なんでえ。
へびじゃねるか……。
脅かすない……。



……しかも、
もがきまくって
どろにもならなく
なってる……。

ははあ……。畏に掛かった
ウサギかなんかを
食おうとして、自分も
引つ絡まっちゃったな……。



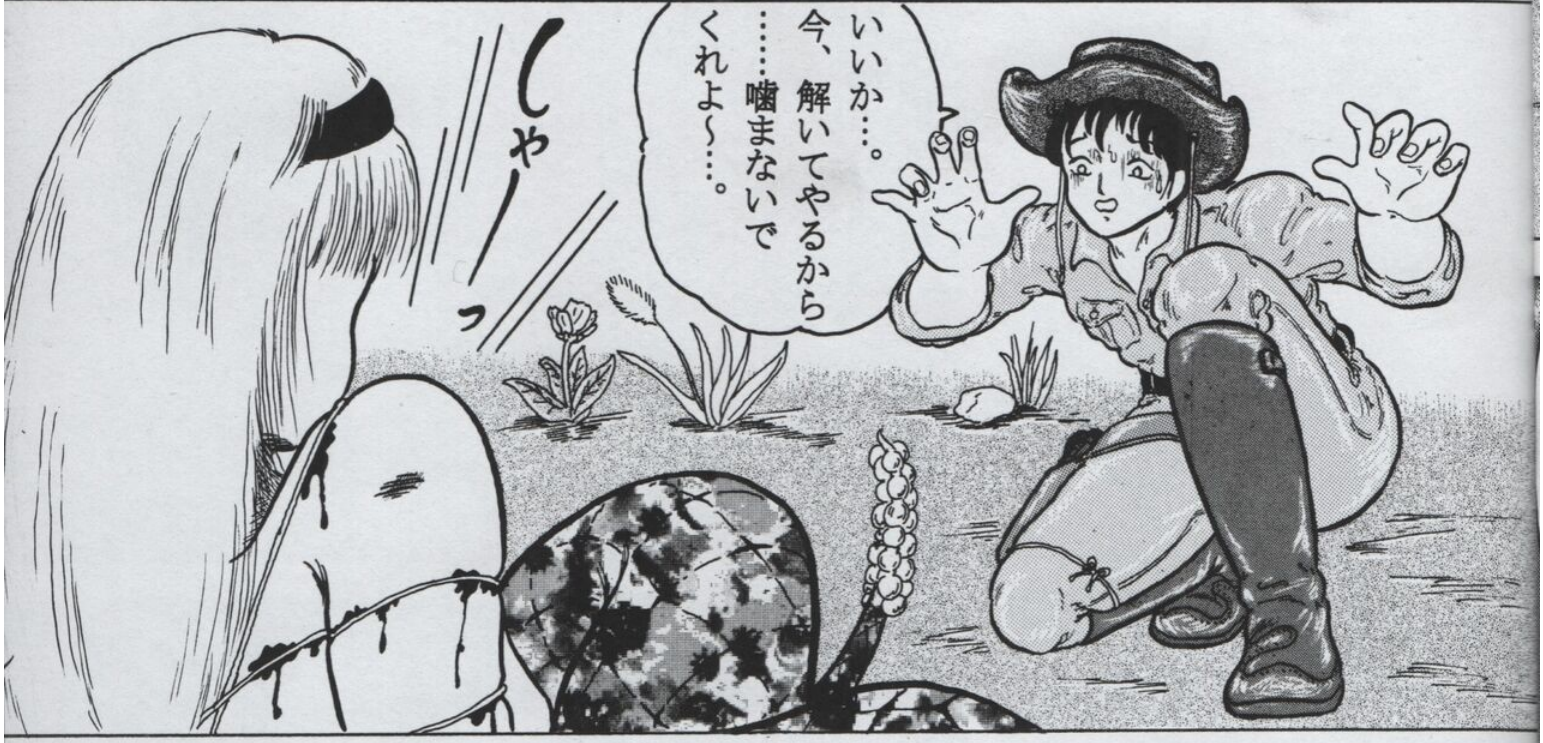


どくせガラガラヘビ
なんか捕まえても
売れねーしな...

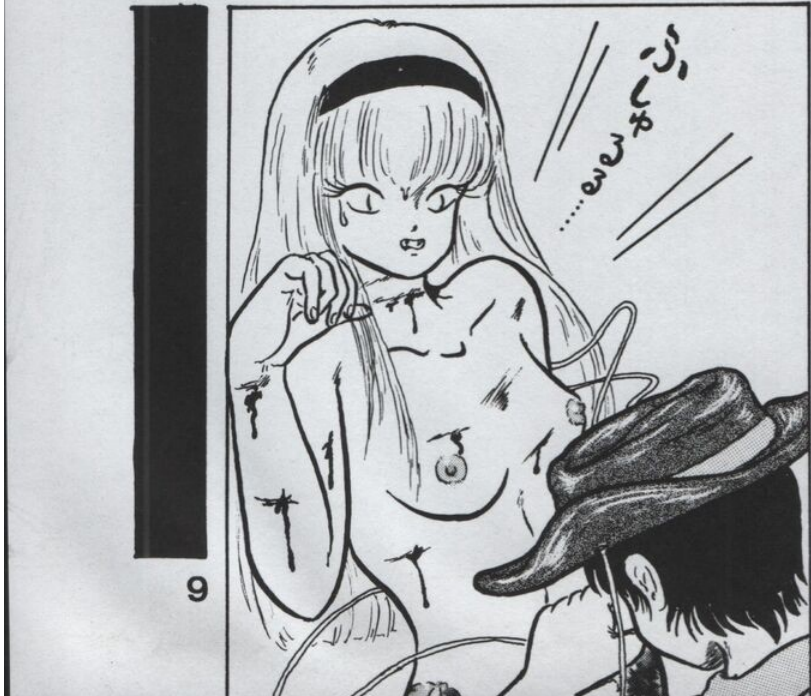
しゃるねー。
獵師さんにや
悪いが
助けてやるか...

コリコリ

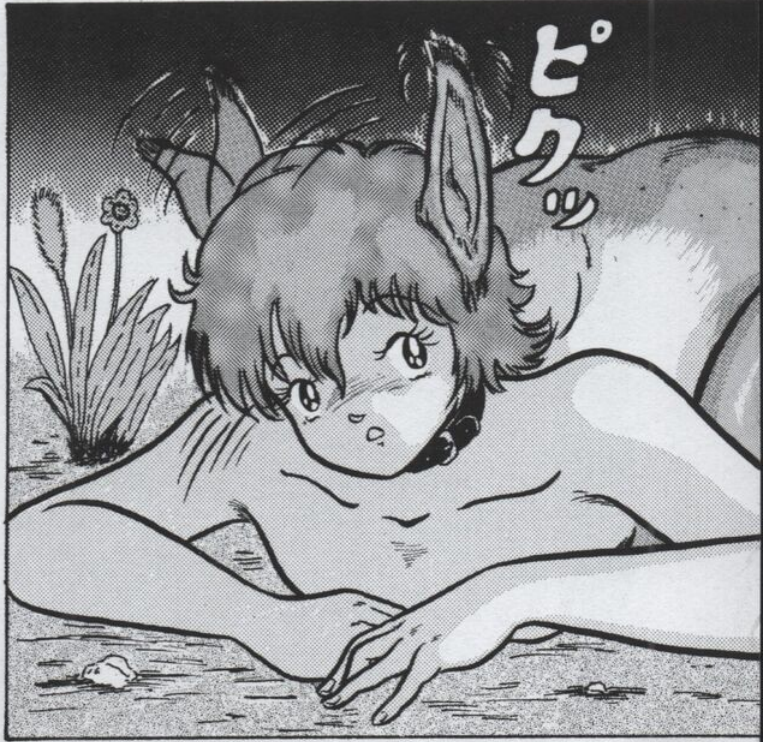
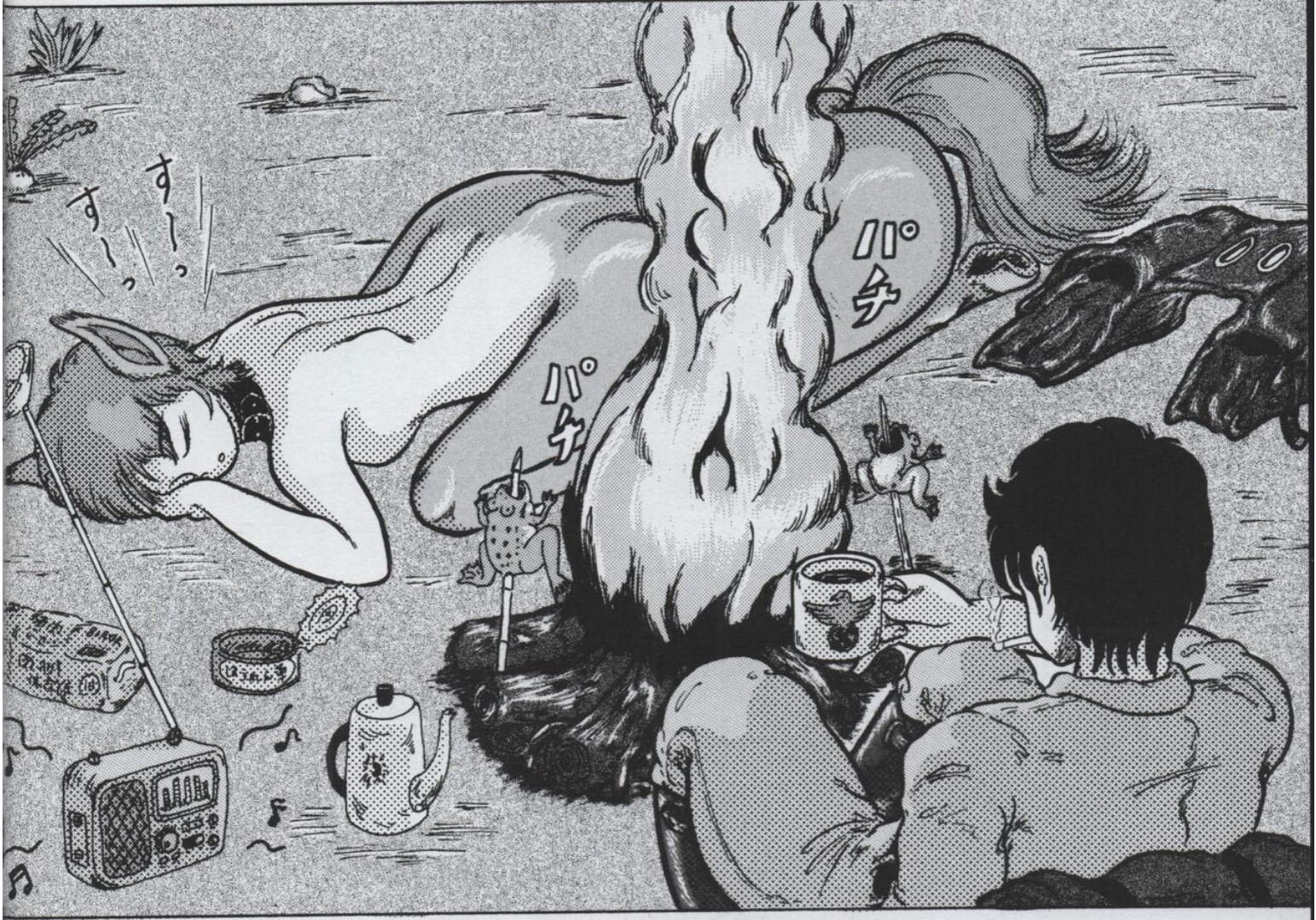
フヤーをナイフでヒヨチがまらう...かと思うが...



いいか...
今、解いてやるから
...噛まないで
くれよ...



...噛まれたら、
3秒で、あの世
行きだぜえ...





ウエブリースコット45 ニ次戦ダマダマ拳銃のひとつ。



かわなや!!
俺さんには
持たぬん...

なんだ?!
なんだ?!
わっ

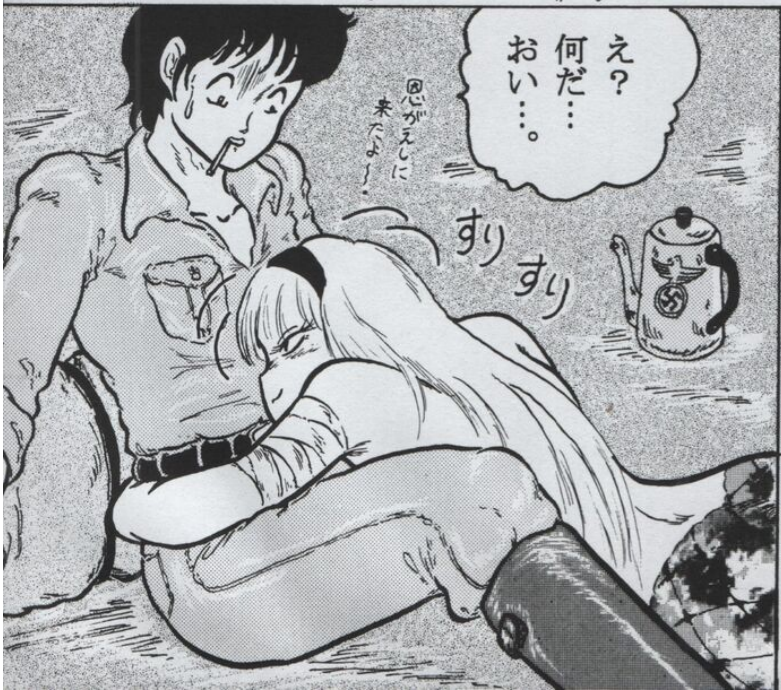
すす
すす

ダブルアクションなので撃鉄を起さなくても射る。



ふう

なんでえ...
さっきのヘビ
じゃねるか...
脅かすない...



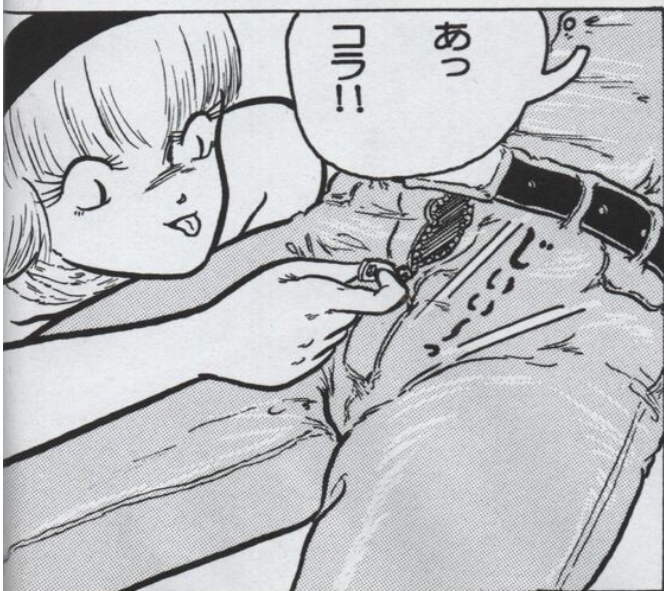
え?
何だ...
おい...

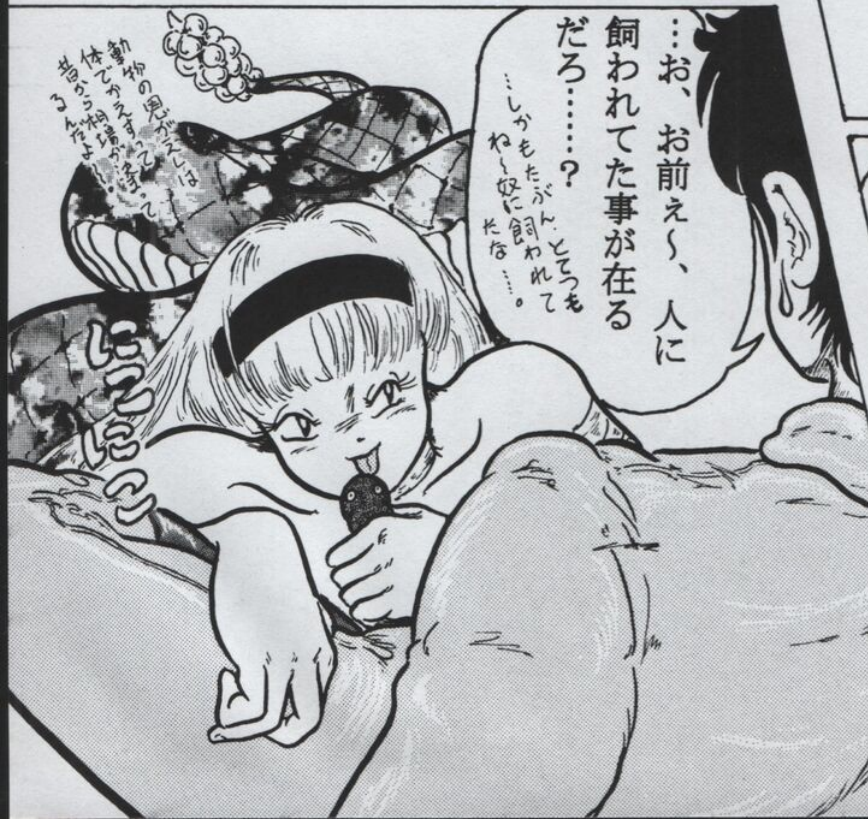
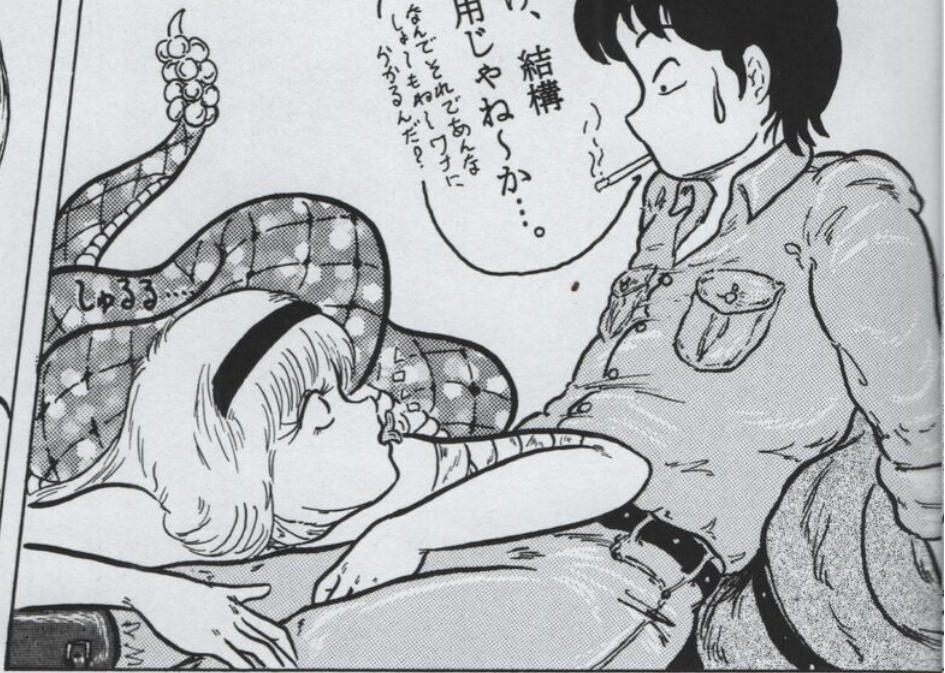
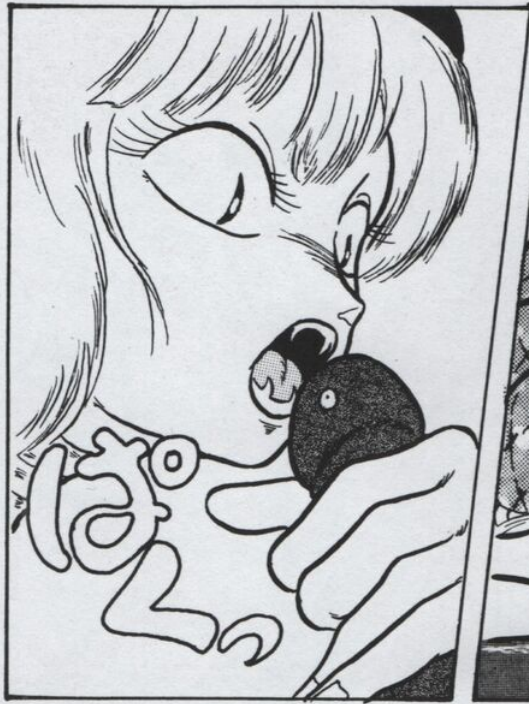
すり
すり

用心に
来た...

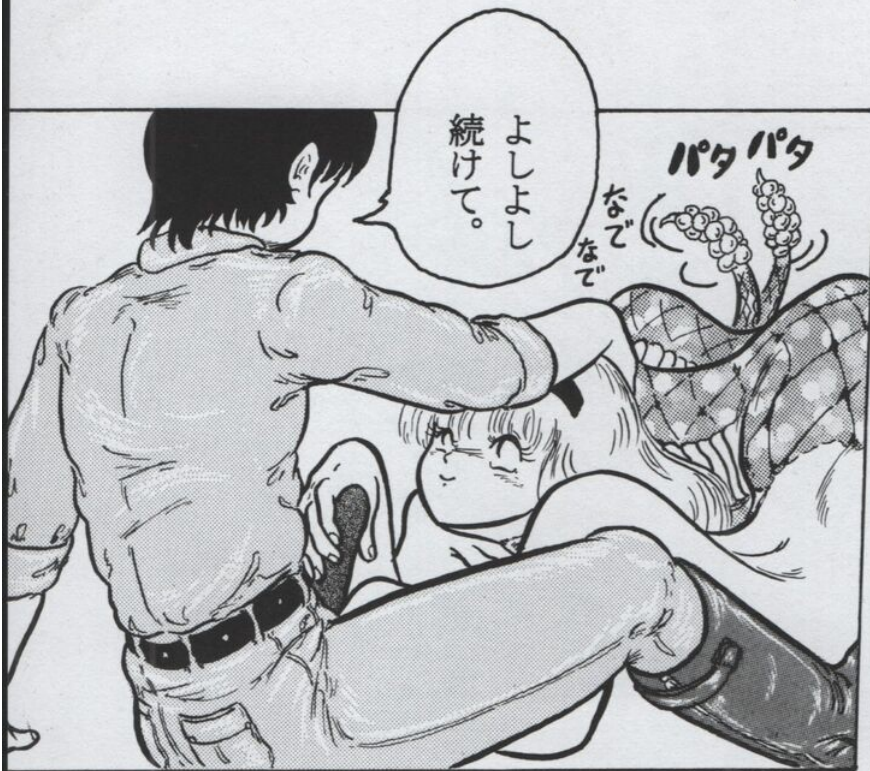


いや、お、ほいがあるから、温血がモ知れんぞ。









よしよし
続けて。

パタパタ

なぞ
なぞ



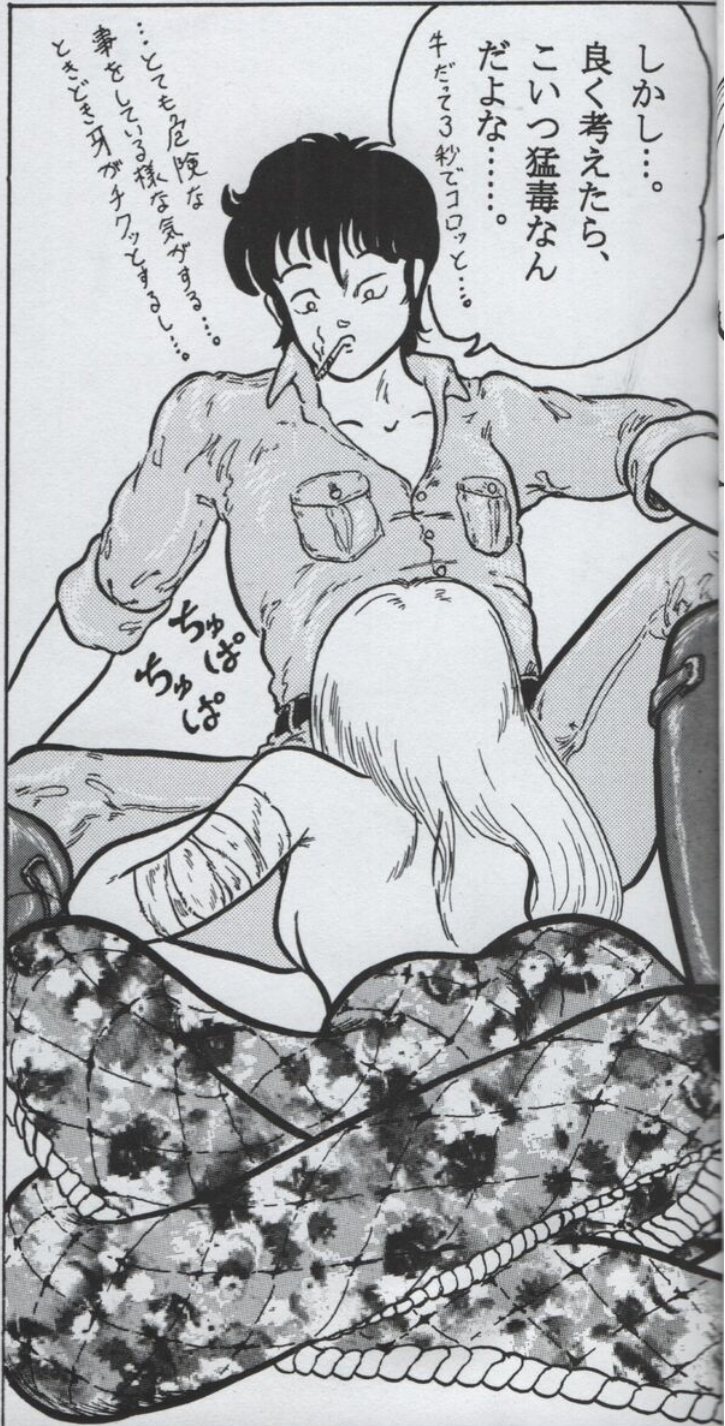
ムカッ

ピクッ



にゅぽ

にゅぽ



しかし...
良く考えたら、
こいつ猛毒なん
だよな.....
牛だぞ3秒でコロッて...

...しんせいの腹を
舞せしめる様子を
見ながら...

わゅぽ
わゅぽ

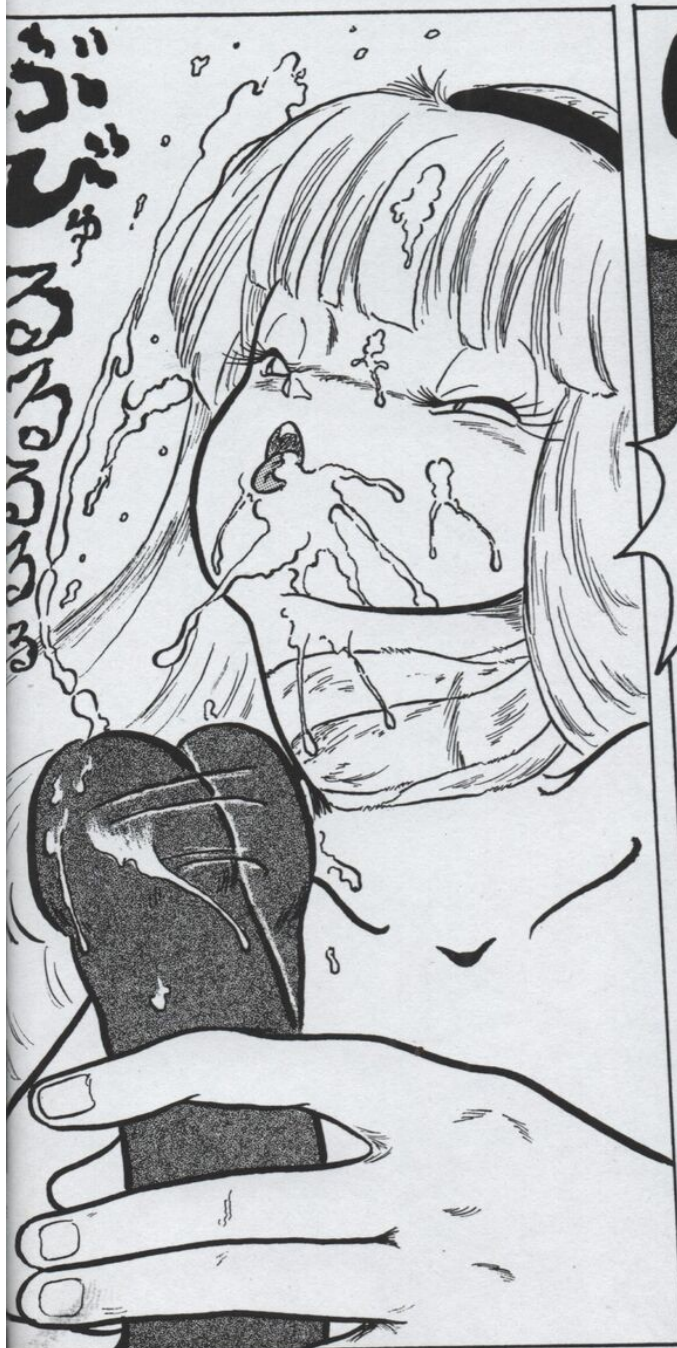
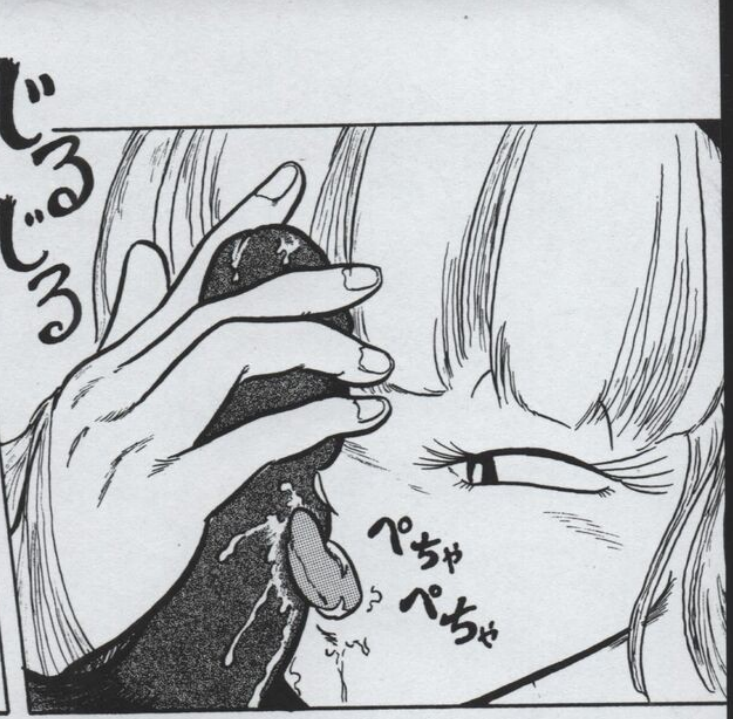


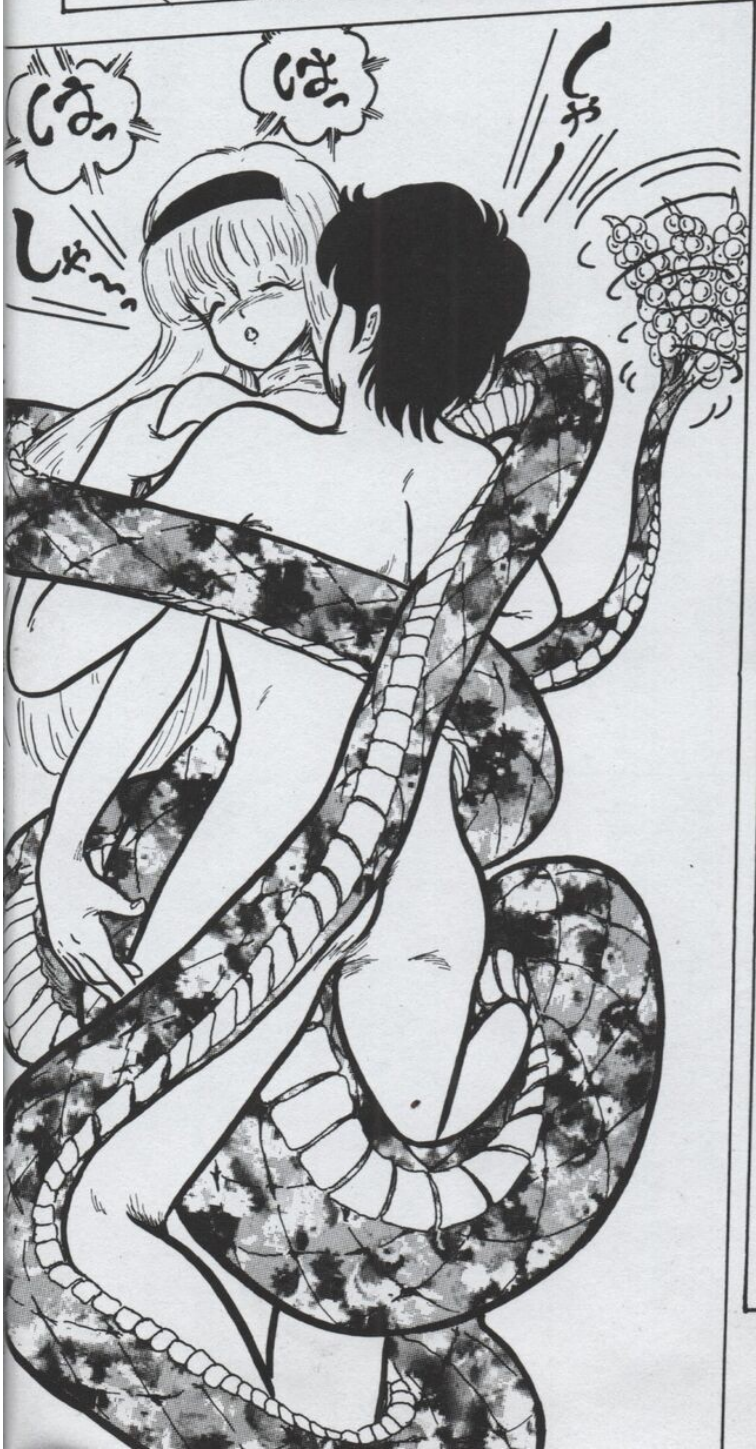
わははは

ま、気持ち
いすから
いすかあ!

...さっさと前の飼主も
こーして命を落としたん
だろーなあ...

...そんな事には命はさっさとあきらめ...あんな美味い肉のとりかたも死ねない。





ふしやるる.....



へビには汗腺が無いから汗はかかないのでは？



しずあああー

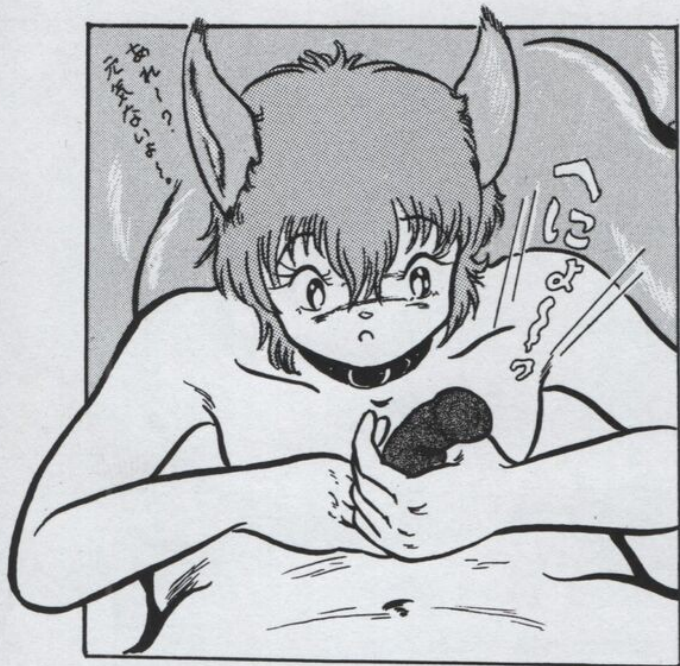


あばよ。
もう畏になんか
掛かなよ。

蛇は動けや
めらな。

(ざいざい！)

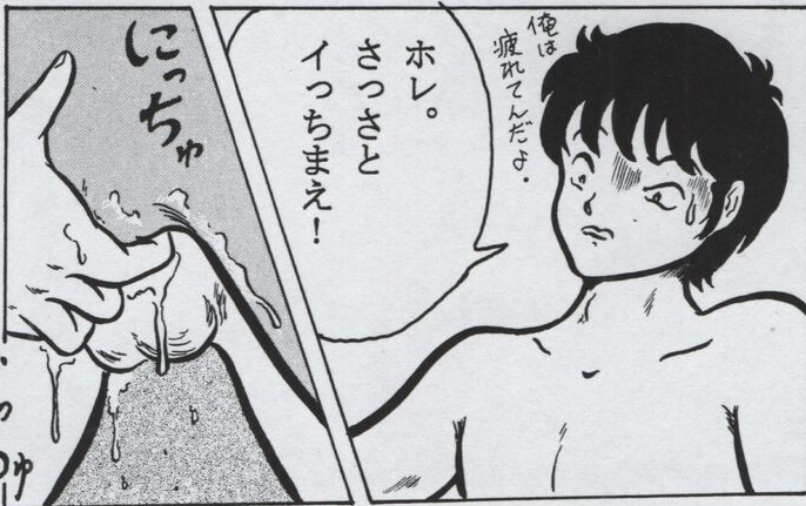






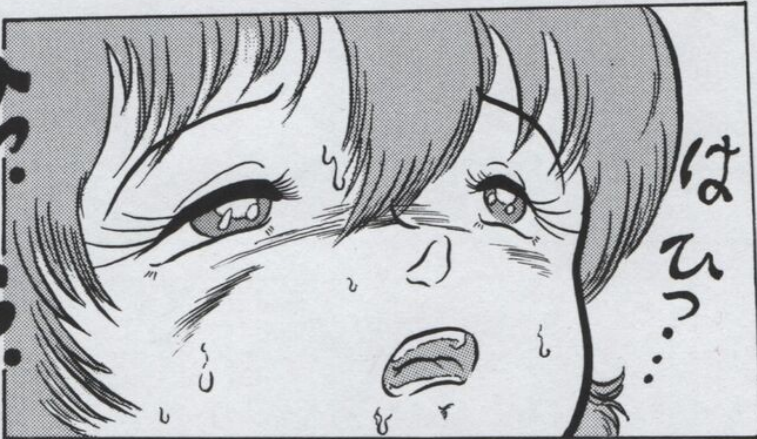
馬は汗をかきやすいので、すぐにカビをひく。





俺は
疲れたんだよ。
ホレ。
さっさと
いちぢゃまえ!

いちぢゃ
いちぢゃ



は
ひゅ
ひゅ

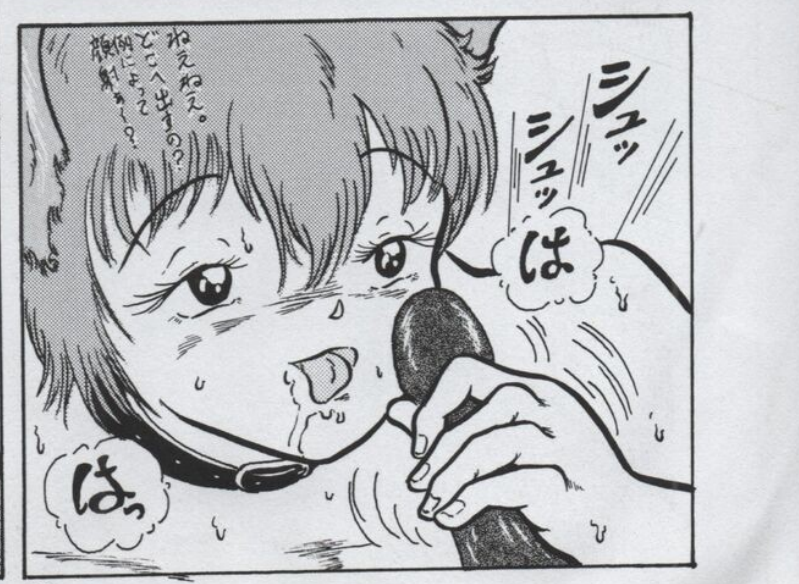


ん
ひゅ
ん!!



ふんっ!
馬には
こゝゆゝ高等
テクニクは在るまい。

けだもの相手に きょうなみ。そんなん!



先日、十五年ぶりくらいに、昔の仲間(同人関係者ではない。念のため)から電話があった。彼とは、二十〜二十五年くらい前に、一緒に爆弾や銃を作って遊んでいた仲間だ。彼は相変わらず、アウトロー街道一直線で、今でも元気に、㊦の字の人たちと、もめたり、警察に泊まりに行ったりしていらしい。

いきなり「新宿のやくざ知らない? 金取り返そうと思ってる。」だもんなあ。そっち方面の知り合いとは、学生時代に縁を切ったんだってば。今は地元の連中だつて、ろくに知らないの。

話してるうちに、「露木さん丸くなったね。昔は一番ギラギラしていると思ったのに...。」いや、そう言われても...

確かに思い当たる節は有る。このところ、人生守りに入っているかもしれない。最近、ちよつと枯れてきけると、自分でも思うところあるもんなあ。ちよつと反省

...待て! 悪の道から足を洗いかけてる事を、反省してどうする、俺!(笑)

...で、結局何の話しかと思つたら、今度、会社を立ち上げたので、一緒にやらないかと言う話だった。会社の内容を効いてみると、どう考えても危ない。あきらかに参加したら危険な方向だ。(笑)

いい歳して警察や裁判所ともめるのも嫌だし、㊦の字の人たちともめるのは、もつと嫌だったので、そう言ってお断りすると、

「それこそ、あの頃の露木さんなら、絶対に言わなかった台詞でしょう。いったいどうしちゃったの?」

いや、だから、私はテロリスト辞めたんだつてば。最近ば、銃刀法も、危険物取り締まりも、破つてないの。交通法以外の法律は破つてないの。(苦笑)

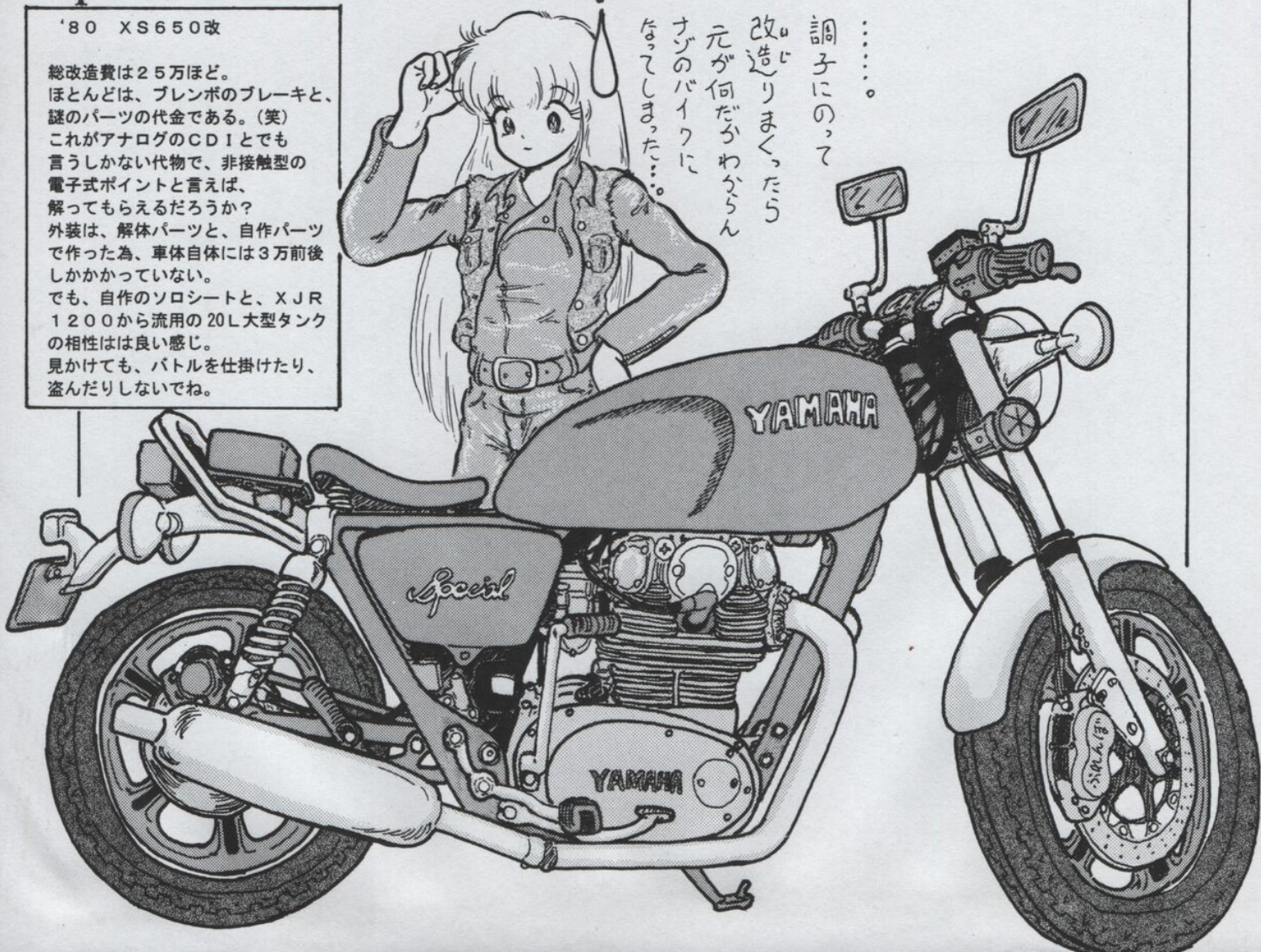
考えてみると、あの頃、チームを組んでいっしょに遊んでいたメンバーで、一番まともなまともと言えるかどうか...生活を送っているのが、私だというのは、かなり問題が有ると思うぞ。(笑)平均寿命も半ばに差し掛かっているというのに、普通に会社勤めしてる人間が、一人もない。誰も結婚してないし...

みんな更生したまえ。いい年なんだから。(笑)...とか何とか言つても、平和に普通に生きるより、多少やばくても面白い方が良く、とか考えちゃつてる連中は、私も含めて一生ダメなんだろうなあ。(笑)

'80 XS650改

総改造費は25万ほど。ほとんどは、ブレンボのブレーキと、謎のパーツの代金である。(笑)これがアナログのCDIとでも言うしかない代物で、非接触型の電子式ポイントと言え、解ってもらえるだろうか? 外装は、解体パーツと、自作パーツで作った為、車体自体には3万前後しかかかっていない。でも、自作のソロシートと、XJR1200から流用の20L大型タンクの相性は良い感じ。見かけても、バトルを仕掛けたり、盗んだりしないでね。

調子にのって
改^レ造^レりまく、たら
元が何だかわかん
な^レのバイクに
な^レってしまった...



あとがきと言うか、なんと言うか…。

どうも、初めての人には、はじめまして。そうで無い人には、毎度。ばあびい露木でございます。

久しぶりに、いつもの私の漫画です。人形以外の私の作品は、近親相姦物か、この手の、何処だかわからない、異世界の作品です。しかも必ず、世界は砂漠化していて、ふてぶてしい主人公たちが、いいかげんに、たくましく生きています。

私がこの世界に足を踏み入れる原因になった友人に、『実話ベースで無い限り、あなたの世界観は、二次戦をしてるか、ザブングルをしてるか、どっちかやのう。』と、言われてしまいました。(…かと言って、人形物と、近親物が、実話ベースだと言っているのではないぞ。笑)

これだけ、ガンダムの漫画を出しているサークルの代表が言うのもなんだが、実は私が、サンライズ作品で、一番影響を受けたのは、ザブングルなのです。いや、あれって、お話としては、後半どうしようもなくなっちゃったのは、間違いないんだけど、あの作品の世界観って、私の好みなのよね。

私の考える世界って、やはり、荒廃して、砂漠化していなければならぬ。いし、火薬で弾丸を飛ばさないようなものは、銃砲とは、認められない。ましてや、化石燃料を燃やして、排気ガスをばら撒く内燃機関以外を、エンジンとして認める気は、まったくありません。

そんな中で、あくまで、ふてぶてしく、たくましく、いいかげんに生きてる世界。

そんな世界が、やはり、私の考える世界なのです。

ついでに。どーせ、バレてると思いますから白状しちゃいますが、この作品、何年か前に、描きかけで放ったらかしにしていたのを、今回、続きを描きたした物です。途中から絵が変わっているのは、そのせいです。

困った事に、紙の色まで変わっている。印刷で出ない事を祈ろう。(笑)

さて、今回は何かかな？

児童ポルノ法の目がくぐれそうなら、妹もののひどい漫画を2本ばかり企画して見ますが…。

小説物も書きたいんですが、いくらエロ小説と言っても、オリジナル小説は、即売会ではまず、売れないしなあ。キヤラ物は、これは、というキヤラがないと、書く気にならないし…。と言うわけで、次回作は未定です。その時のお楽しみに。

おくづけ

ばび官別冊 ばあびい露木個人誌

『人畜有害 鬼畜にや無害』

発行 ピグロリオン

連絡先 〒243-0032 厚木市恩名 969

露木方 バービーまで

E-mail barbie@netpro.ne.jp

発行日 2002年8月11日

無断で転載したり複製したりする事は、別に禁じませんが、その時はたっぷりほめてくださいね。また、歪んだ取り上げ方をして、どっかから文句が来ても、当方は一切責任をとりませんので、そのつもりでどうぞ。

商業誌の編集さん。読んでたし事下さい。
マンガでも文章でも引き受けますよ。

